

2013年12月18日

株式会社 富士キメラ総研
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町YSビル
 TEL.03-3664-5839 FAX.03-3661-1414
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
<http://www.fcr.co.jp/>
 広報部 03-3664-5697

中国のプラスチックフィルム・シート市場を調査

2012年は728万トン(前年比6.1%増)、2015年は861万トン(2012年比18.3%増)に成長
 注目市場

PCシート～LED照明の拡散板用途に期待 LiBセパレーター～EV用途での需要拡大

マーケティング&コンサルテーションの(株)富士キメラ総研(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 田中 一志 03-3664-5839)は、2013年6月から10月にかけて、中国現地法人である北京凱美萊信息咨询有限公司と連携して、中国におけるプラスチックフィルム・シート市場の調査を行った。その結果を報告書「2013年 中国プラスチックフィルム・シート市場の展望」にまとめた。

この報告書では、中国における食品、医薬、農業、建築、電気・電子などの各種産業におけるプラスチックフィルム・シートの生産と需要の動向を把握するため、原反フィルム・シート17品目、機能フィルム11品目について現状を分析し今後を予測した。加えて、中国参入企業の概要についても整理した。

< 調査結果の概要 >

中国のプラスチックフィルム・シート市場(中国国内需要)

	2012年	2015年予測	2012年比
原反フィルム・シート	623万トン	732万トン	117.5%
機能フィルム	104万トン	130万トン	125.0%
合計	728万トン	861万トン	118.3%

数字は四捨五入して万トン単位にしているため必ずしも合計と一致しない。

中国プラスチックフィルム・シートの2012年の市場は、前年比6.1%増の728万トンとなった。浙江省、江蘇省、広東省などの沿岸部での生産が中心となっている。経済状況などにより変動する可能性があるものの、2015年の市場は、2012年比18.3%増の861万トンが予測される。

原反フィルム・シートは、前年比6.1%増の623万トンとなった。2015年の市場は2012年比17.5%増の732万トンが予測される。農業用PEフィルムが全体の36%を占めている。次いでPETフィルムやA-PETシートの構成比が高い。PET系フィルムは、包装材料用途、工業材料用途で一定の需要がある。他には、食品、洗浄用品、薬品などの包装で使われるL-LDPEフィルム(シーラント用)、導光板や拡散板などの光学用途で需要が多いPMMAシートの構成比が高い。PCシートは、建材用途やLED用途で市場拡大が期待されている。

機能フィルムは、前年比5.1%増の104万トンとなった。工業製品、物流、農業(牧草の保管)に使われるストレッチフィルムが38%を占めている。シュリンクフィルムは、食品・飲料用途がビールや飲料などの市場拡大に伴って需要が増加している。上記2品目に包装用アルミ蒸着フィルムを加えた3品目で機能フィルム市場の90%を構成している。今後は、LiBセパレーターやITOスパッタリングフィルムなどの電子材料関連の市場拡大も加わり、2015年の市場は130万トンが予測される。

日本からは中国に対して10万トン以上のプラスチックフィルム・シートの輸出を行っており、特にPETフィルムなどの輸出量が多い。また、PETフィルム、容器用シート、ONYフィルム、電子材料用フィルムは現地生産化も進められている。

<注目市場>

原反フィルム・シートにおける注目市場(中国国内需要)

	2012年	2015年予測	2012年比
PCシート	40万トン	55万トン	137.5%
EVAフィルム	11万トン	14万トン	127.3%
PETフィルム	100万トン	130万トン	130.0%

PCシートは、75%を占める建築・建材用途が一時期よりも成長が鈍化しているものの、LED照明の拡散板の用途で高成長が期待できる。また、広告看板用途でも一定の需要があるとみられ、2015年の市場は55万トンが予測される。

EVAフィルムは、中国では、雨具、テーブルクロス、シャワーキャップなどの生活用品、衛生用品、包装用途や、野菜や花き栽培のハウス用フィルムでの農業用途が多い。2012年の市場は11万トンとなった。今後は農業用途の安定した需要に加え、生活用品や衛生用品などでの需要拡大がけん引し、2015年は14万トンが予測される。

PETフィルムは、包装用途として印刷複合包装やアルミ蒸着真空パック、絶縁フィルムやテープなどの電気・電子部材用途、太陽電池用途など幅広く採用されている。今後は、LCDの拡散フィルムや反射シートなどの光学用途も期待され、2015年には130万トンが予測される。ただし、需要は増えているものの、PETフィルムの生産能力は設備過剰の状況が続いており、価格競争の激化のため参入事業者が赤字経営に陥っているケースもみられる。

機能フィルムにおける注目市場(中国国内需要)

	2012年	2015年予測	2012年比
LiBセパレーター	3億2,400万 m ²	5億1,000万 m ²	157.4%
ITOスパッタリングフィルム	500万 m ²	860万 m ²	172.0%
ストレッチフィルム	40万トン	55万トン	137.5%

LiBセパレーターは、携帯電話、ノートPC、タブレット、EV、電動バイクなどの用途を中心に市場を構成している。現状では、携帯電話、ノートPC、タブレットなどの需要が7割を超えており市場拡大をけん引しているが、今後は国策として普及に取り組んでいるEV用途の需要増加が期待される。ただし、LiBセパレーターは技術難易度が高いため、当面は海外メーカーからの輸入が中心となる。

ITOスパッタリングフィルムは、静電容量方式のタッチパネルの市場に連動し、特にスマートフォンやタブレット需要の増加により市場拡大が期待される。日系企業が強い製品であり、中国でも高いシェアを占めている。タッチパネル用途では、OSG(カバーガラス一体型)技術やインセル技術の進歩により、需要が低下する可能性があるものの、2015年の市場は860万 m²が予測される。

ストレッチフィルムは、工業製品、物流、農業(牧草の保管)などに用いられている。特に物流用途がけん引し、年率10%以上の拡大が続いている。製品や部品の出荷段階における物流梱包資材として、経済発展に伴う物流の増加によって今後も市場拡大が期待され、2015年の市場は55万トンが予測される。また、輸出に関しても、大手メーカーの大半が欧州、東南アジア、中東、南米、日本向けに展開している。

< 調査対象 >

原反フィルム・シート
農業用PVCフィルム、PVDCフィルム、EVAフィルム、農業用PEフィルム、L-LDPEフィルム(シーラント用)、L-LDPEフィルム(耐熱L-LDPE)、CPPフィルム(レトルト用)、PSPシート、OPSシート、HIPSシート、ONYフィルム、PETフィルム、A-PETシート、PMMAシート、PCシート、PBTフィルム、PIフィルム
機能フィルム
シュリンクフィルム、ストレッチフィルム、イージーピールフィルム、包装用アルミ蒸着フィルム、工業用アルミ蒸着フィルム、透明蒸着フィルム、ITOスパッタリングフィルム、OCA、LiBセパレーター、ハードコートフィルム、離型フィルム

< 調査方法 >

富士キメラ総研と北京凱美萊信息咨询有限公司の専門調査員によるヒアリング調査及び関連文献、データベースを併用

< 調査期間 >

2013年6月～10月

以上

資料タイトル	: 「2013年 中国プラスチックフィルム・シート市場の展望」
体 裁	: A4判 357頁
価 格	: 120,000円+税 CD-ROM付価格130,000円+税
調査・編集	: 株式会社 富士キメラ総研 研究開発本部 第二研究開発部門 TEL:03-3664-5839 FAX:03-3661-1414
発 行 所	: 株式会社 富士キメラ総研 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL:03-3664-5839(代) FAX:03-3661-1414 e-mail:info@fcr.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ http://www.fcr.co.jp/